

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GS世界分散ファンド(毎月決算型) (愛称 ミツ星レシピ)」は、このたび、第104期～第109期の決算を行いました。本ファンドは、世界の高配当株式、グローバル・リート、コモディティの3つの異なる資産へ分散投資することにより、「値上がり益」と「配当、利息収益」を同時に追求する運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第109期末(2016年7月15日)		第104期～第109期	
基準価額	5,986円	騰落率	3.15%
純資産総額	1,597百万円	分配金合計	30円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GS世界分散ファンド (毎月決算型)

愛称：ミツ星レシピ

(注)「ミツ星レシピ」は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

追加型投信／内外／資産複合

第104期(決算日2016年2月15日)
第105期(決算日2016年3月15日)
第106期(決算日2016年4月15日)
第107期(決算日2016年5月16日)
第108期(決算日2016年6月15日)
第109期(決算日2016年7月15日)

作成対象期間：2016年1月16日～2016年7月15日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

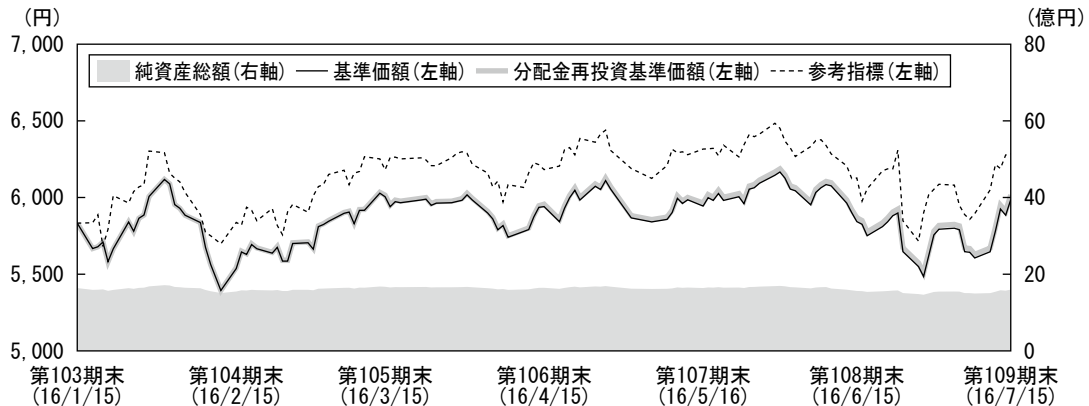
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先：03-6437-6000(代表)

受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2016年1月16日～2016年7月15日）



第104期首：5,833円

第109期末：5,986円

（当作成期中にお支払いした分配金：30円）

騰落率：+3.15%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指標はMSCIコクサイ高配当利回りインデックス（円換算ベース）50%＋S＆P先進国REITインデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）およびS＆P先進国REITインデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成した指数30%＋S＆P GSCIトータル・リターン・インデックス（円換算ベース）20%であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の5,833円から153円上昇し、期末には5,986円となりました。

上昇要因

世界株式市場（現地通貨ベース）、グローバル・リート市場（米ドルヘッジベース）、コモディティ市場（米ドルベース）のいずれもが大幅に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

外国為替市場において、米ドルなどに対して円高が進行したことや、分配金をお支払いしたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
GSグローバル高配当株式マザーファンド	1.02%
GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド	8.08%
ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト*	5.09%

（注）組入れファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

*正式名称は「ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラストーゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト（日本においては適格機関投資家限定）」です。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第104期～第109期 2016年1月16日～2016年7月15日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	45円 (21) (22) (2)	0.757% (0.349) (0.376) (0.032)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （株式） （投資信託証券）	2 (1) (1)	0.033 (0.014) (0.019)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （株式） （投資信託証券）	1 (0) (0)	0.013 (0.008) (0.005)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	5 (4) (0) (1)	0.090 (0.060) (0.007) (0.022)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	53	0.893	

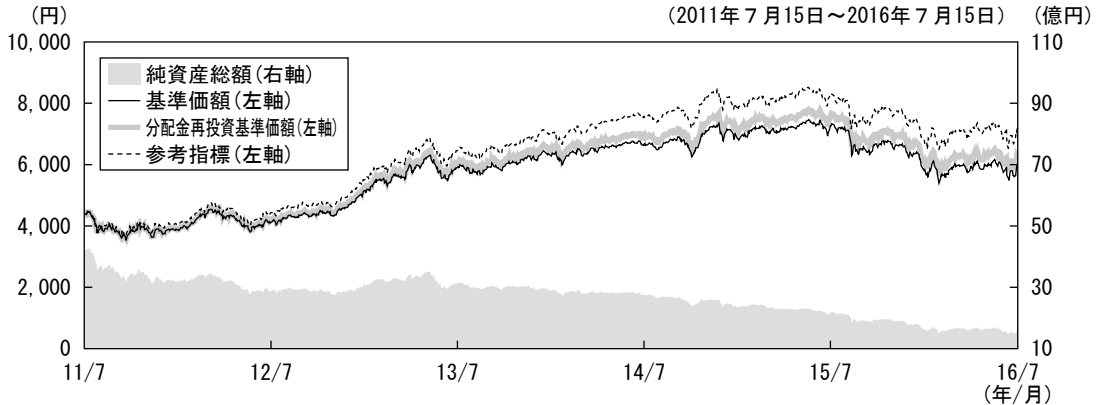
期中の平均基準価額は5,951円です。

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2011年7月15日の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

	2011/7/15 決算日	2012/7/17 決算日	2013/7/16 決算日	2014/7/15 決算日	2015/7/15 決算日	2016/7/15 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,422	4,146	5,932	6,671	7,270	5,986
期間分配金合計（税引前）（円）	—	60	60	60	60	60
分配金再投資基準価額騰落率	—	－4.83%	44.78%	13.54%	9.92%	－16.85%
参考指標騰落率	—	0.59%	45.35%	16.70%	9.68%	－13.31%
参考指標（世界高配当株式）騰落率	—	2.04%	52.89%	21.96%	17.75%	－10.00%
参考指標（グローバル・リート）騰落率	—	4.19%	43.96%	17.84%	23.32%	－3.41%
参考指標（コモディティ）騰落率	—	－8.91%	28.61%	1.91%	－25.44%	－34.43%
純資産総額（百万円）	4,250	2,897	3,150	2,759	2,179	1,597

(注) 参考指標を構成する各資産の指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しており、下記のインデックスを使用しています。

世界高配当株式：MSCIコクサイ高配当利回りインデックス（円換算ベース）

グローバル・リート：S&P先進国REITインデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）およびS&P先進国REITインデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成した指数

コモディティ：S&P GSCIトータル・リターン・インデックス（円換算ベース）

■ 投資環境について

＜世界株式市場＞

当期の世界株式市場（現地通貨ベース）は大幅に上昇しました。原油価格の下落やE U（欧州連合）離脱の是非を問う英国の国民投票がE U離脱に決したことなどを受けて急落する局面もありましたが、原油価格が概ね上昇基調で推移したことや欧米をはじめとする各国の緩和的な金融政策などがプラス材料となり、概ね上昇基調で推移した結果、前期末を大幅に上回る水準で期を終えました。

＜グローバル・リート市場＞

当期のグローバル・リート市場（米ドルヘッジベース）は大幅に上昇しました。原油価格の下落などを受けて急落する局面もありましたが、原油価格が概ね上昇基調で推移するなか、主要国が金融緩和の姿勢を強めて世界的に長期金利の低下傾向が続いたことなどが追い風となり、期を通じて概ね堅調な展開となりました。なお、英国の国民投票後に同国の不動産市場の先行き不透明感が台頭し、手元資金不足を理由とした解約停止措置をとる不動産投資ファンドが相次いだことなどが重石となり、欧州リート市場はアンダーパフォームする結果となりました。

＜コモディティ市場＞

当期のコモディティ市場（S & P G S C I）（米ドルベース）は大幅に上昇しました。畜産物セクターを除く全セクターが上昇するなか、エネルギーセクターや貴金属セクターの上昇幅が大きくなりました。インデックスに占める割合の大きいエネルギーセクターは、原油を中心に大幅に上昇しました。原油は、O P E C（石油輸出国機構）の生産調整に向けた協議に進展は見られなかったものの、ナイジェリアやクウェートにおけるストライキによる生産への影響が懸念されたこと、米国でドライブシーズンを抑えたガソリン需要への期待が高まったことなどが上昇要因となりました。貴金属セクターは、米国の利上げ期待が後退した局面や投資家のリスク回避姿勢が高まった局面などにおいて金を中心に上昇しました。また、産業用金属セクターは、中国からの投機的な資金が流入した局面などにおいて上昇しました。なお、中国の商品先物の取引量が急増したことを受けて、同国の取引所当局は、取引コストと証拠金を引き上げるなど、過熱抑制措置を発表しています。一方で、畜産物セクターは供給増などを背景に下落しました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

資産配分は、世界の高配当株式50%、世界の不動産投資信託（グローバル・リート）30%、商品（コモディティ）20%を基本とし、G S グローバル高配当株式マザーファンド、G S グローバルREIT ポートフォリオ マザーファンドおよび、ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラストを主要投資対象として分散投資を行い、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

＜G S グローバル高配当株式マザーファンド＞

主として、世界各国（除く日本）の株式へ分散投資することにより、長期的な成長をめざしました。株式への投資にあたっては、配当利回りに着目し、企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）や成長性などを勘案して、銘柄選択を行いました。その結果、6月末のポートフォリオの配当利回りは3.5%となりました。当期の国別配分については、フランスやスウェーデンなどをオーバーウェイトとした一方、ドイツや英国などをアンダーウェイトとしました。セクター別では、ヘルスケアセクターなどをオーバーウェイトとした一方、生活必需品セクターなどをアンダーウェイトとしました。

＜G S グローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド＞

ポートフォリオの配当利回りが市場平均を上回るようポートフォリオ運営を継続しました。ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先証券の組入れを継続しました。その結果、6月末のポートフォリオの配当利回りは4.9%となりました。当期の国別配分については、各国のファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）や配当利回りの水準などを勘案し、フランスや米国などをオーバーウェイトとした一方、オーストラリアや英国などをアンダーウェイトとしました。

＜ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト＞

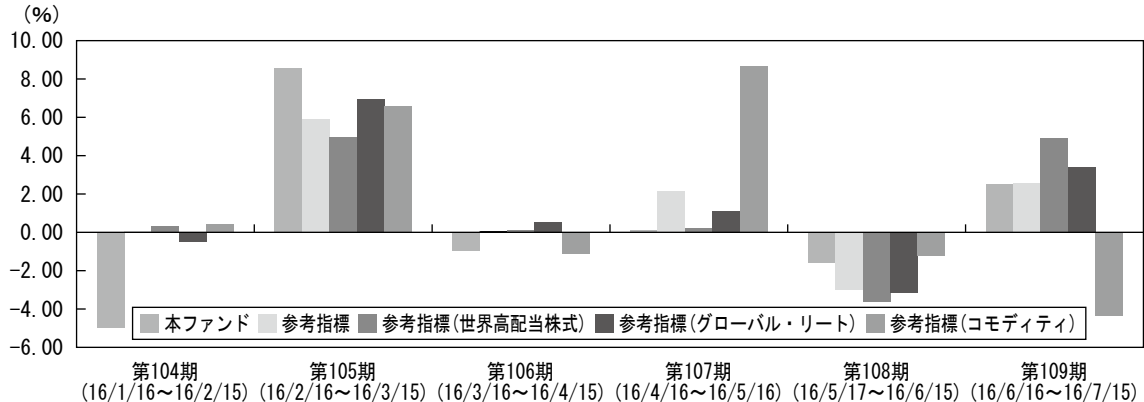
引き続き、商品指数先物取引などを利用し、S & P G S C I トータル・リターン・インデックス（米ドルベース）に連動した投資成果をめざす運用を行うとともに、米ドル建て投資適格債券を投資対象とした債券アクティブ運用を行いました。

当期のエンハンスド・キャッシュ運用はパフォーマンスにプラス寄与となりました。国債の個別銘柄選択がマイナス寄与となった一方、証券化商品の個別銘柄選択などがプラス寄与となりました。先物ロール運用については、従来通り、執行コストの管理を意識した運用を行いました。当期のロール・タイミング戦略は、農産物セクターにおけるロール・タイミングをベンチマークと比較して遅らせるポジションなどがマイナス寄与となりました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+3.15%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+7.74%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第104期から第109期は各5円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	2016年1月16日 ～2016年2月15日	2016年2月16日 ～2016年3月15日	2016年3月16日 ～2016年4月15日	2016年4月16日 ～2016年5月16日	2016年5月17日 ～2016年6月15日	2016年6月16日 ～2016年7月15日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	0.090	0.083	0.084	0.084	0.085	0.083
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	522	530	535	540	548	564

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

本ファンドは、世界の高配当株式、グローバル・リート、コモディティの3つの異なる資産に分散投資することで、値上がり益と配当、利息収益を同時に追求し、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今後も基本資産配分に沿った分散投資を行います。

<GSグローバル高配当株式マザーファンド>

米国経済が堅調に推移し、企業収益も拡大が見込まれることなどから、米国株式市場には今後も上昇余地があると予想されます。消費者の購買意欲の高まりや低水準にとどまっているエネルギー価格が、米国のGDP（国内総生産）の約7割を占める個人消費の拡大を促すと考えられます。世界経済の減速リスクや、予期せぬ金融政策の変更など懸念材料は依然として散見されますが、米国株式市場の見通しは引き続き明るいとしています。米国のファンダメンタルズの改善が続くなかで、企業は利益を留保しバランスシートに過剰なキャッシュを抱えるのではなく、設備投資や研究開発費の増加、雇用の拡大、M&A（企業の合併・買収）などの将来に向けた投資への積極姿勢を強めると考えています。また、堅調なマクロ環境を考慮すると、現在の米国株式のバリュエーションは概ねフェアバリュー（適正水準）で、債券と比べると割安感が見られます。今後の運用に際しては、①特色のある革新的な商品を有する、②低コスト体質、③市場シェア拡大余地がある、④財務体質が健全、⑤優秀な経営陣を有する、などの特徴がある高配当企業の発掘に注力します。そして、株価が割安な水準にあると判断される銘柄に対しては、中長期的な観点から選別投資を行ってまいります。

本ファンドでは、引き続き世界各国（除く日本）の株式に投資し、株式の組入比率を高位に保ちながら、長期的に外国株式市場のもたらすリターンを享受することをめざした運用を行います。

<GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド>

今後のリート市場の成長率は、従来と比較すると緩やかになると予想されますが、世界の不動産市況と需給環境は概ね良好であることなどから、今後も底堅く推移すると思われます。また、世界的に総じて低金利環境が続くなか、相対的に高い利回りを求め資金が引き続きリート市場に流入しており、同市場を下支えています。とりわけ、米国経済に幅広く回復が見られることなどから、米国リート市場の見通しは明るいと考えています。

当社は優良物件の賃料と価格は上昇すると予想しており、好立地に物件を構えるリートについては、賃料の上昇に伴う収益の改善による内部成長が見込まれます。主要先進国において概ね緩和的な金融政策が継続しているなか、今後もリート市場の利回りは総じて長期金利を上回る展開が考えられます。また、リートを対象にしたM&Aが世界的に活発化していることもプラス材料としています。一方、最近では他の資産クラスと比べて、リート市場は金融市場やマクロ経済動向から相対的に大きな影響を受ける傾向が見られます。このため、米国をはじめとする世界の金利や、原油をはじめとする商品市況の動向などが懸念材料となれば、短期的に市場のボラティリティ（価格変動率）が上昇する展開が予想されます。また、国民投票がEU離脱に決した英国に関しては、今後の経済見通しが不透明であるため、その影響を慎重に見極めていく所存です。

今後も、ファンドの配当利回りが市場平均を上回ることをめざしながらポートフォリオの運用を継続いたします。個別銘柄については、ファンダメンタルズに基づくボトムアップ・アプローチにより、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルや優良資産、優秀な経営陣を有する質の高い企業に焦点を当てていきます。国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズや資金フローを勘案し、機動的に調整いたします。また、ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先株の組み入れを継続いたします。

<ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト>

コモディティ市場では、2016年後半は各セクターにおける需給などファンダメンタルズに基づいた相場環境になり、固有のテーマの発掘がコモディティ投資において重要になると考えています。当社では、原油価格については2016年7月に入り再び下落基調となっているものの、米国を中心に生産コスト水準の高い生産者が減産を余儀なくされることで、2016年後半は価格が上昇基調に転じる可能性がある予想しています。産業用金属市場については、過去数ヵ月の価格上昇により中国で生産が回復し、銅やアルミニウムなどについて軟調な展開になると見えています。農産物市場については、大豆を中心に米国の作付・育成状況は良好で今年は豊作が期待されるなど、供給が潤沢であると見られることから、過去数ヵ月の上昇基調からの反落を予想しています。

今後とも、商品指数先物取引などを利用し、S & P G S C I トータル・リターン・インデックス（米ドル・ベース）に連動した投資成果をめざすとともに、債券アクティブ運用においては超過収益の獲得をめざして運用を行って参ります。

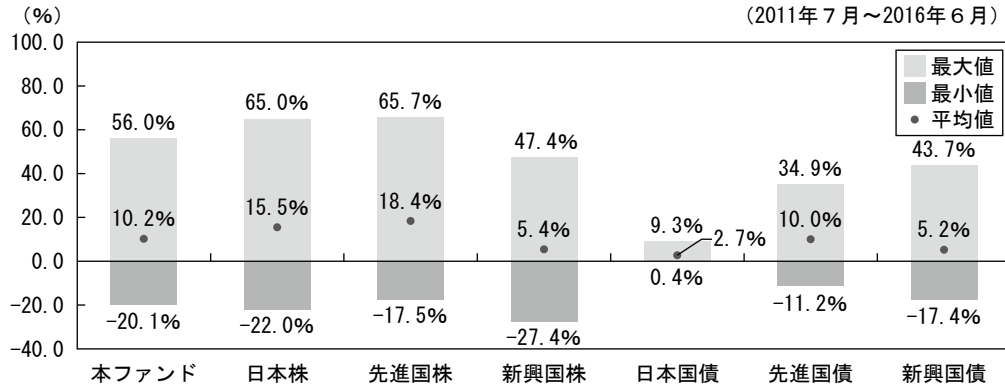
（上記見通しは2016年7月15日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国（除く日本）の株式を主要投資対象とする投資信託証券、日本を含む世界各国の不動産投資信託（REIT）を主要投資対象とする投資信託証券、米ドル建ての投資適格債券およびS & P G S C I 先物取引を行う投資信託証券への分散投資を通じて、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・親投資信託 ① G S グローバル高配当株式マザーファンド ② G S グローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド ・ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト ③ ゴールドマン・サックス エンハンスト・コモディティ・サブ・トラスト（日本においては適格機関投資家限定）
指定投資信託証券①	世界各国（除く日本）の株式
指定投資信託証券②	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されているREIT
指定投資信託証券③	S & P G S C I 先物ないしはS & P G S C I を構成する商品先物・オプション、米ドル建て投資適格債券等
運用方法・組入制限	① 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ② 指定投資信託証券の投資比率は、世界各国（除く日本）の株式を主要投資対象とする投資信託証券：50%、日本を含む世界各国のREITを主要投資対象とする投資信託証券：30%、米ドル建ての投資適格債券とS & P G S C I 先物に投資する投資信託証券：20%を基本とします。 ③ 株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年7月から2016年6月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

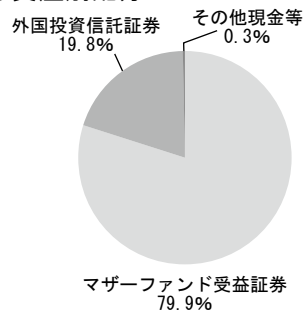
■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年7月15日現在）

○組入れファンド

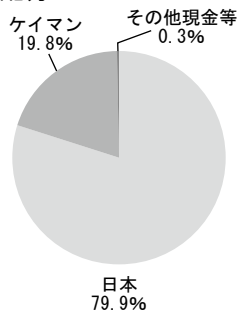
（組入銘柄数：3銘柄）

ファンド名	比率
GSグローバル高配当株式マザーファンド	50.0%
GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド	29.9%
ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト	19.8%

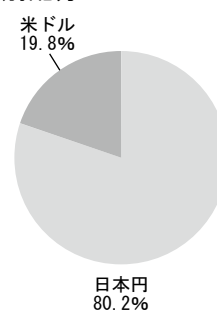
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

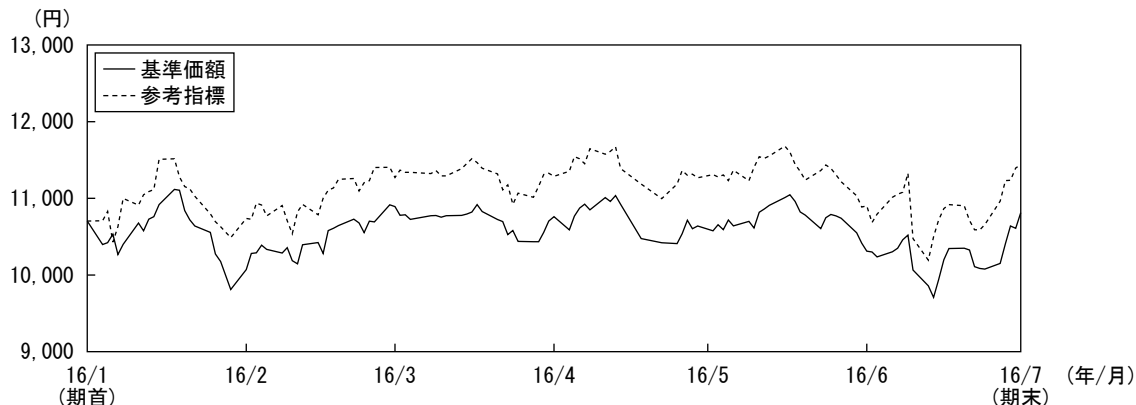
項目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2016年2月15日	2016年3月15日	2016年4月15日	2016年5月16日	2016年6月15日	2016年7月15日
純資産総額	1,548,631,678円	1,672,004,601円	1,645,183,471円	1,639,049,248円	1,562,657,014円	1,597,293,007円
受益権総口数	2,797,009,650口	2,784,477,867口	2,769,164,018口	2,757,353,942口	2,674,312,486口	2,668,347,531口
1万口当たり基準価額	5,537円	6,005円	5,941円	5,944円	5,843円	5,986円

（注）当作成期首元本額は2,807,798,453円、当作成期間（第104期～第109期）中において、追加設定元本額は6,131,609円、同解約元本額は145,582,531円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<GSグローバル高配当株式マザーファンド>（2016年7月15日現在）

○基準価額等の推移について（2016年1月16日～2016年7月15日）



（注1）基準価額等の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）参考指標はMSCIコクサイ高配当利回りインデックス（円換算ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注3）参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （株式）	3円 (3)
有価証券取引税 （株式）	2 (2)
その他費用 （保管費用） （その他）	9 (8) (1)
合計	14

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

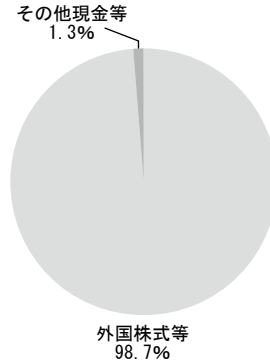
（注3）株式には上場投資信託証券を含みます。

○組入上位10銘柄

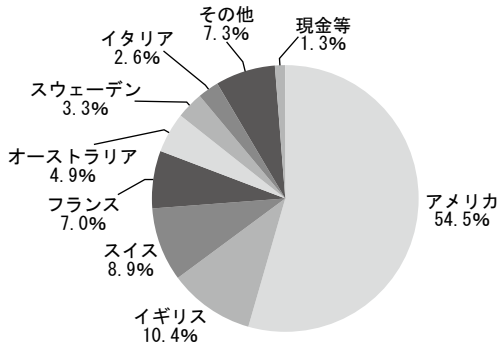
（組入銘柄数：53銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ALTRIA GROUP INC	アメリカ	5.1%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	5.0%
3	PFIZER INC	アメリカ	4.7%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	4.6%
5	VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	4.1%
6	MERCK & CO INC	アメリカ	3.8%
7	NOVARTIS AG	スイス	3.3%
8	ROYAL DUTCH SHELL PLC	イギリス	3.3%
9	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	3.0%
10	CONAGRA FOODS INC	アメリカ	2.7%

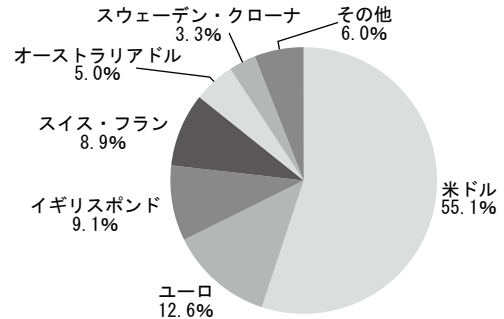
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



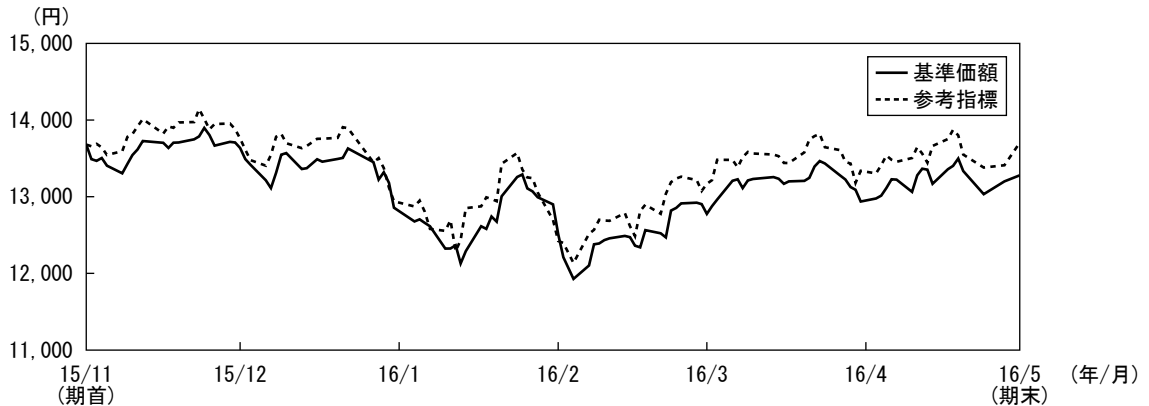
（注1）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

（注2）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

＜GSグローバルREITポートフォリオ マザーファンド＞（2016年5月9日現在）

○基準価額等の推移について（2015年11月10日～2016年5月9日）



（注1）基準価額等の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）参考指標はS & P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS & P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注3）参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （投資信託証券）	13円 (13)
有価証券取引税 （投資信託証券）	2 (2)
その他費用 （保管費用） （その他）	1 (1) (0)
合計	16

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

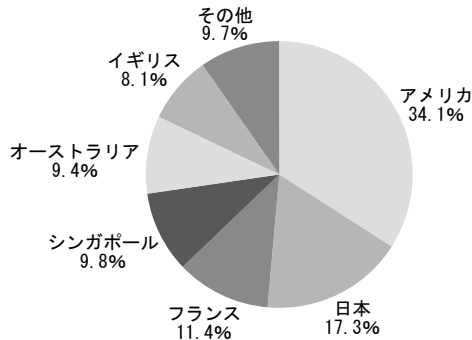
（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

○組入上位10銘柄

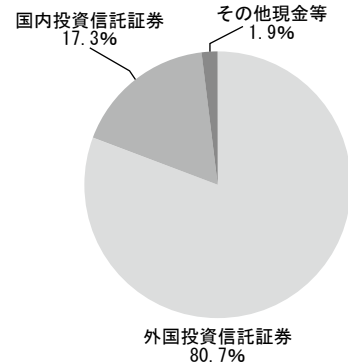
（組入銘柄数：47銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ナショナル・リテール・プロパティーズ	アメリカ	7.6%
2	EPRプロパティーズ	アメリカ	5.2%
3	クレピエール	フランス	4.9%
4	リバティー・プロパティ・トラスト	アメリカ	4.5%
5	フォンシエール・デ・レジオン	フランス	3.7%
6	ブリティッシュ・ランド・カンパニー	イギリス	3.5%
7	ケネディクス商業リート投資法人	日本	3.3%
8	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	日本	2.9%
9	ユニベイル・ロダムコ	フランス	2.8%
10	チャーター・ホール・グループ	オーストラリア	2.8%

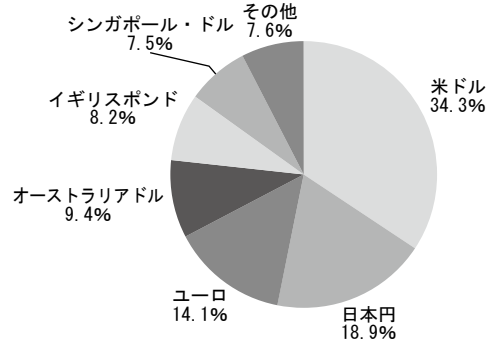
○国別配分



○資産別配分



○通貨別配分



（注1）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

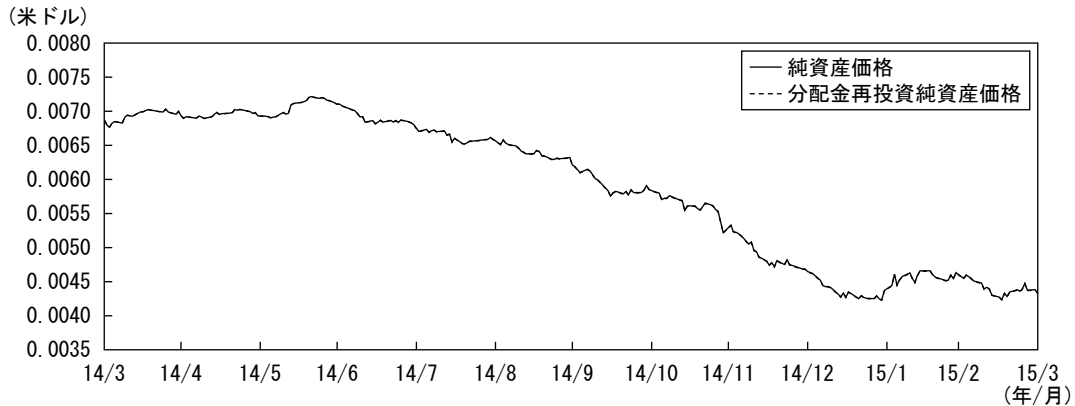
（注2）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト>（2015年3月31日現在）

※組入れファンドの決算は、年1回（毎年3月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年3月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2014年4月1日～2015年3月31日）



（注1）分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金再投資純資産価格は、2014年3月31日の純資産価格を起点として指数化しています。

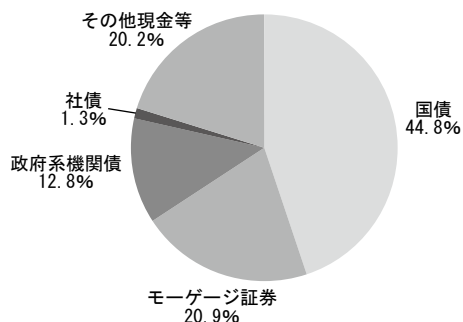
○費用明細（単位：米ドル）

運用費用	
支払利息	934
投資顧問報酬	295,203
管理事務代行報酬	30,000
監査報酬	66,190
受託報酬	7,791
保管費用	87,524
名義書換事務代行報酬	7,553
投資主サービス報酬	20,905
弁護士報酬	3,312
雑費	15,665
運用費用合計	535,077

（注1）費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年4月1日から2015年3月31日までのものです。

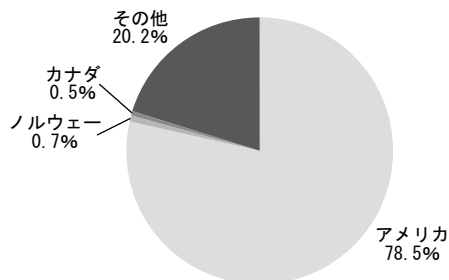
（注2）費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○資産別配分

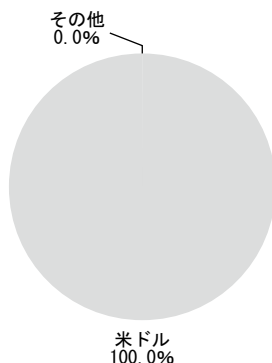


(注) 上記のほか、S & P G S C I などコモディティ・インデックスに連動するデリバティブ取引のエクスポージャー（比率：99.2%）がございます。

○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：93銘柄）

	銘柄	種別	通貨	比率
1	US GOVT 0.5% 30 JUN 2016	国債	米ドル	10.2%
2	US GOVT T-BILL 20 AUG 2015	国債	米ドル	8.8%
3	FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOC 2.375% 11 APR 2016	政府系機関債	米ドル	6.2%
4	FEDERAL FARM CREDIT BANK SYSTEM 4.25% 16 APR 2018	政府系機関債	米ドル	4.7%
5	FEDERAL HOME LOAN MORTGAG 2014- 3.034% 25 OCT 2020	モーゲージ証券	米ドル	3.6%
6	US GOVT 3.625% 15 AUG 2043	国債	米ドル	3.2%
7	US GOVT 2.125% 31 DEC 2015	国債	米ドル	2.7%
8	FNMA Single Family 30yr 6.00 01/01/2037	モーゲージ証券	米ドル	2.2%
9	FEDERAL HOME LOAN BANK SYSTEM 0.375% 10 JUN 2016	政府系機関債	米ドル	1.9%
10	US GOVT T-BILL 30 JUL 2015	国債	米ドル	1.8%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。